

## 【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2019年6月27日提出
【発行者名】	りそなアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 西岡 明彦
【本店の所在の場所】	東京都江東区木場一丁目5番65号
【事務連絡者氏名】	塚田 光子
【電話番号】	03-6704-3821
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	りそなラップ型ファンド（安定型） りそなラップ型ファンド（安定成長型） りそなラップ型ファンド（成長型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	りそなラップ型ファンド（安定型） 1兆円を上限とします。 りそなラップ型ファンド（安定成長型） 1兆円を上限とします。 りそなラップ型ファンド（成長型） 1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年4月25日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）において、当ファンドの投資対象に「RAM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)」を追加するための投資信託約款の変更にかかる書面決議の手続きを開始することに伴い、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するとともに、追加するマザーファンドの概要及び投資信託約款の変更後における当ファンドの内容などをお知らせするため、本訂正届出書を提出します。

## 2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

## 第一部【証券情報】

## (12)【その他】

&lt;訂正前&gt;

該当事項はありません。

&lt;訂正後&gt;

## りそなラップ型ファンド(安定型)／(安定成長型)／(成長型) 投資信託約款変更(予定)に関するお知らせ

この度、追加型証券投資信託「りそなラップ型ファンド(安定型)／(安定成長型)／(成長型)」(以下、このお知らせでは「本ファンド」といいます。)について、投資信託約款の変更を予定しております。

本ファンドの投資信託約款の変更に伴い、受益者の皆様に対して書面による決議(以下、「書面決議」といいます。)の手続きを開始いたしますので、お知らせいたします。

なお、書面決議の手続きは、本ファンドの2019年7月1日時点の受益者の方が対象となり、2019年6月28日以降に取得申込みをされた方は対象外となりますので、予めご了承いただけますよう、お願いいたします。

## 1. 予定している投資信託約款の変更内容および理由

(変更内容)

本ファンドの投資対象に、「RAM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)」を追加します。

(変更理由)

現在、本ファンドでは「RAM国内債券マザーファンド」、「RAM先進国債券マザーファンド」、「RAM新興国債券マザーファンド」、「RAM国内株式マザーファンド」、「RAM先進国株式マザーファンド」、「RAM新興国株式マザーファンド」、「RAM国内リートマザーファンド」および「RAM先進国リートマザーファンド」の各マザーファンドを通じて、8つの資産に分散投資を行っております。

これら8つの資産のうち、「国内の債券」については、本ファンドにおけるリターンの安定性を向上させる役割を期待してポートフォリオに組み入れております。しかしながら、現在の国内金利環境を鑑みて、今後その役割を十分に果たすことが困難となる可能性があると考えており、「国内の債券」と比較的近い値動きをする「先進国債券(為替ヘッジあり)」を投資対象に追加し幅広い投資機会を追求することで、よりリターンの安定性の向上を目指すものです。

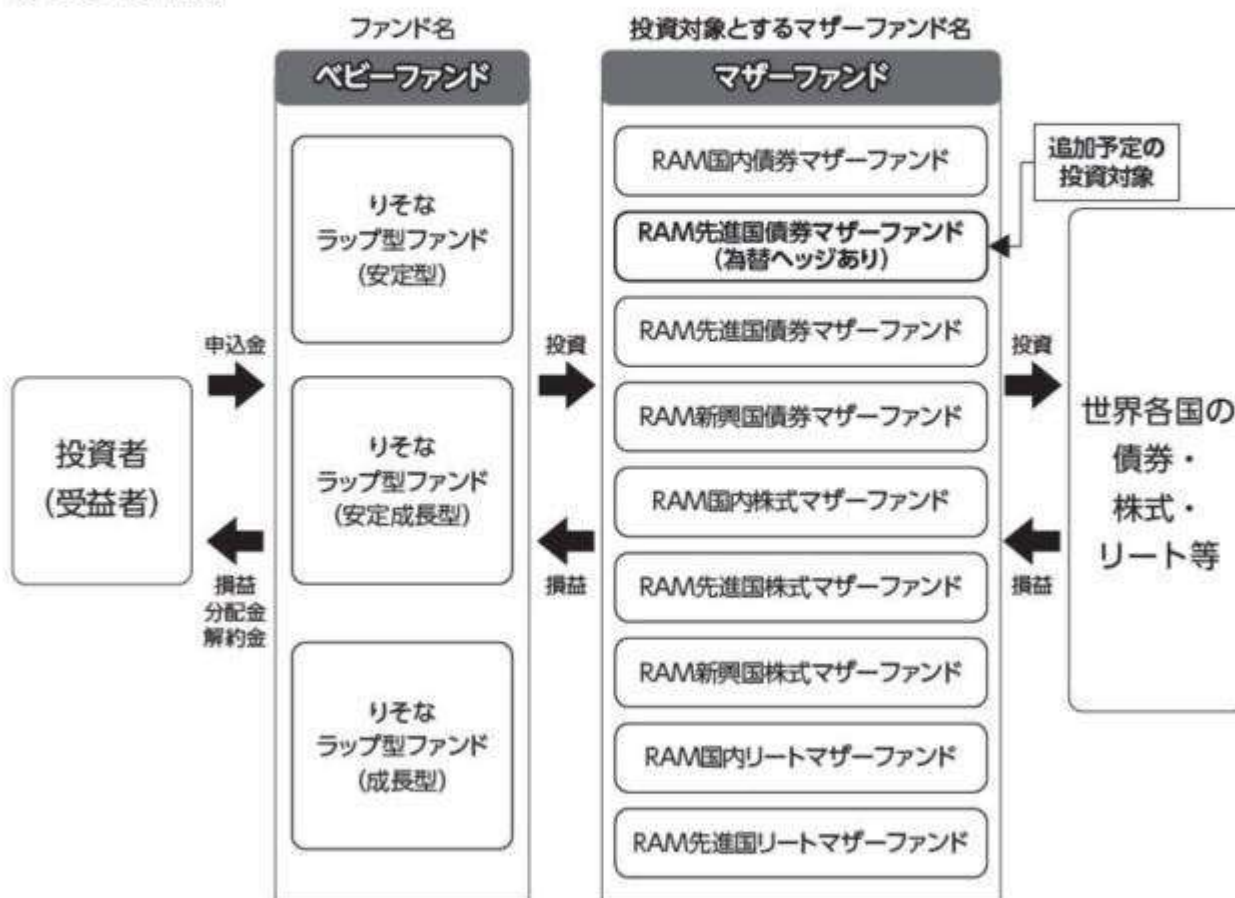
なお、本変更に伴う本ファンドの中長期的な運用収益目標(目標リターン)およびポートフォリオの構築手法については変更ございません。

（ご参考）以下は、本ファンドの変更後の内容です。

① 追加するマザーファンドの概要

ファンド名	RAM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)
基本方針	この投資信託は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)に採用されている先進国の債券を主要投資対象とします。
設定日	2016年10月6日
受託会社	株式会社りそな銀行

② ファンドの仕組み



③ 投資リスク ※下線部分が追加になります。  
(市場リスク-為替変動リスク)

為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。また当ファンドは原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの一部低減を図ることをしていますが、当該部分の為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行う通貨の短期金利より円短期金利が低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。

## 2. 書面決議の手続きおよび日程

① 受益者および受益権口数の確定日	: 2019年7月1日
② 書面による議決権の行使期間	: 2019年7月1日から2019年8月7日まで
③ 書面決議の日	: 2019年8月8日
④ 投資信託約款の変更適用予定日	: 2019年9月3日

本議案にかかる書面決議は、議決権を行使できる受益者の受益権口数の3分の2以上の賛成をもって可決されます。本議案が可決された場合は、2019年9月3日付で本ファンドの投資信託約款の変更を適用いたします。本議案が否決された場合は、本ファンドの投資信託約款の変更は行いません。

書面決議の結果については、2019年8月13日に、弊社ホームページ(<https://www.resona-am.co.jp/>)に掲載いたします。

**※以上の点をご理解のうえ、ご購入くださいますようお願い申し上げます。**

《本件に関するお問い合わせ先》

りそなアセットマネジメント株式会社

電話番号 03-4500-7071（営業日の午前9時から午後5時まで）